

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2021年10月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

厳選した銘柄で長期保有する「差別化されたポートフォリオ」

私どもは、市場と異なる意見を持つことの居心地の悪さを踏まえても、自らのポートフォリオが差別化されていることは重要であると考えます。なぜなら、それが市場平均を上回るリターンをあげる唯一の方法であると考えているからです。真に大きなリターンは、投資した段階で少数派であった自分たちの意見が、時間を経て多数派意見になる過程で初めて生み出されるものです。当ファンドが長期的に優れた投資リターンを実現し、将来「正しい少数意見」であったことが証明されるよう引き続き確信度の高い企業に投資して参ります。

株式市場に参加する際には、「正しい少数意見」をもって投資に望むことが重要です。株式市場で多数派の意見は、すでに株価に織り込まれたものであり、そこで大きな利益を得るのは難しいためです。



大きなリターンは投資した段階で「少数派」であった自分たちの意見が、時間を経て「多数派」になる過程で生み出されるものです。



市場が注目していない
有望企業を発掘

少数派→多数派になる
過程で株価上昇
意見が正しいと証明される

誰もが認める
優良企業に変貌

投資で真に成功したいのであれば、人と違うことをしなくてはなりません。

⇒当ファンドは、国内上場企業約3,800社のうちわずか17社に投資（2021年9月末現在）

当ファンドの差別化されたポートフォリオ
確信度の高い魅力的なビジネスを厳選して、長期保有する

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのイメージ図です。少数派から多数派になる過程では、想定外の時間を要する場合や、想定した結果にならない可能性もあり、全てのケースに当てはまるものではありません。また、当ファンドの将来の結果をお約束するものではありません。

出所：スパークス・アセット・マネジメント（2021年9月30日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2021年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

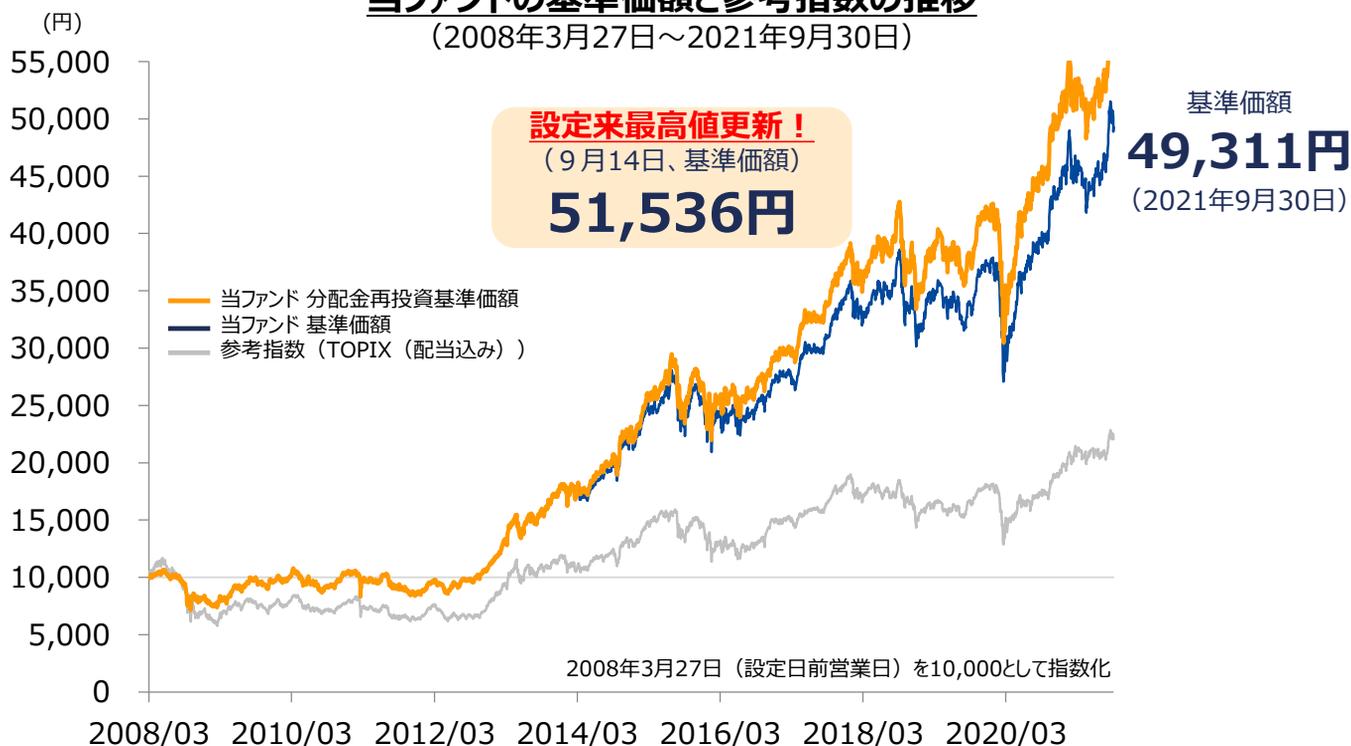
当ファンドの運用状況

当ファンドは、今年年初から5月までTOPIX（配当込み）を下回るパフォーマンスが続いておりましたが、6月以降は逆にTOPIX（配当込み）を上回るパフォーマンスとなっており、9月14日には設定来最高値を更新しました。個別銘柄では、6～9月の4ヶ月間で見ると、リクルートやシマノ、キーエンスなどがプラスに貢献しました。

引き続き、短期的な日本株式市場の上下に一喜一憂することなく、長期にわたって保有し続けられる銘柄を厳選することで、お客様へ高いリターンをお届けできるよう運用して参ります。

当ファンドの基準価額と参考指数の推移

(2008年3月27日～2021年9月30日)



過去のパフォーマンス (2021年9月30日現在)

	厳選投資	参考指数	差異
1ヶ月間	4.38%	4.36%	0.02%
3ヶ月間	9.72%	5.32%	4.40%
6ヶ月間	9.34%	4.97%	4.37%
1年間	27.08%	27.52%	-0.44%
3年間	33.51%	19.87%	13.64%
設定来	469.60%	120.59%	349.01%
年率リターン	13.47%	5.91%	7.55%
年率リスク	19.24%	21.40%	-2.16%

保有上位5銘柄 (2021年9月30日現在)

順位	コード	企業名	保有比率
1	6758	ソニーグループ	9.2%
2	6098	リクルートホールディングス	9.0%
3	6501	日立製作所	8.6%
4	6861	キーエンス	8.1%
5	6594	日本電産	7.2%

※ 参考指数 (TOPIX (配当込み)) は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したものと計算したものです。

※ 基準価額は信託報酬控除後です (過去のパフォーマンスは月末値により算出しています)。

※ 年率リターンは計算期間 (2008年3月27日～2021年9月末) におけるリターンを年率換算しています。年率リスクも同計算期間における日次リターンの標準偏差 (年率換算) です。

※ 上位5銘柄の比率は対純資産総額をもとに計算しています。

出所: スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年9月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社 (以下当社) が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2021年10月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

組入銘柄のご紹介

日立製作所 (6501)

銘柄概要

- 100年以上の歴史を持つ日本を代表する総合電機メーカー。事業範囲はITシステムの開発、産業機器、家電、医療機器、自動車関連機器の製造、発電所システムや鉄道システムの構築、関連サービスの提供など多岐に亘る。
- リーマンショック時には8,000億円もの赤字を抱えていた企業だったが、組織構造改革や上場子会社の売却、成長戦略に対する取り組みの加速によって、2021年3月期連結決算での最終利益は過去最高となる5,016億円を達成。

スパークスの着目点

- **高い利益貢献度が予想される“Lumada事業”**
 - ✓ “Lumada”とは、ソリューションを発掘するために顧客のIoTデータを収集・分析する同社独自の仕組み。同事業はコストをかけずに業容拡大できる段階に入ってきており、今後は利益率改善および売上成長スピードが上昇することが予想される。
 - ✓ 競合他社は、自社製品を売るためにプラットフォームを展開しているのに対し、同社はあくまで顧客の課題解決を最優先に考えてパッケージ提案をしており、差別化が図られている。
- **本源的価値に比べて割安な株価**
 - ✓ Lumada事業の本格的な業績貢献がなくても、同社の製造業としてのベース収益力は強化されており、その収益性はいまだ改善途上。Lumada事業を軸とする持続的な成長が見込めるステージに入った可能性を考えると、割安な株価水準と言え、弊社の銘柄選択基準の1つである十分なバリューギャップがあることにも合致している。

株価推移

(2018年9月30日～2021年9月30日)



同社は2021年7月にグローバルロジック社(米)を買収。
⇒既存の領域に強みを持つ企業同士のM&A
により、海外展開を強化へ！

事業内容の強みを補完し合える両社

	日立製作所	グローバルロジック
ビジネスの主戦場	国内に偏重	海外
ITインフラ	主にクラウド上	エッジやIoT機器内部までを対象にしたソフトウェアアプリケーションの作り込み、運用・制御等
ソフトウェア開発手法	顧客が決めた仕様に基づいて作り込みを行う受託開発型	顧客企業と協業して機動的に仕様変更しながら、理想のITシステムを作りあげるアジャイル開発型

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： 会社資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年9月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2021年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■投資リスク

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。**従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

●株価変動リスク ●集中投資のリスク ●信用リスク ●その他（システムリスク・市場リスクなどに関する事項、法令・税制・会計方針などの変更に関する事項等）

ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」に詳しく記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.30%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用（信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.804%（税抜1.64%）を乗じて得た額とします。〔委託会社0.99%（税抜0.90%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.044%（税抜0.04%）〕 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
随時	その他費用・手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が別に定める単位 ※詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。原則として配当控除の適用が可能です。 *上記は2021年4月末日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■特化型に関して

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート
2021年10月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
（加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○	○		
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○	○		
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3198号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
損保ジャパンD証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第106号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
LINE証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3144号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9200（受付時間：営業日9：00～17：00）